

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	プライドや羞恥心に配慮したトイレ誘導の声かけを考え直す	トイレ誘導時に利用者の気持ちに沿った対応を全職員が出来るように、統一したケアを目指す。	他の利用者のいる前での「おっこ、うんち、大便」等の言葉は使用せず、「トイレ」という言葉で羞恥心に配慮した、統一したケアをして行く。他の利用者に聞こえるような大声ではなく、その人に聞こえるだけの声のかけ方を行う。食事中は特に気をつける。	1ヶ月
2	40	調理場がないユニットの食を楽しむ雰囲気作りが出来ていない	食事準備時を意識してもらうような、ユニットの雰囲気作りを目指す。	各ユニットごとに炊飯器でご飯を炊き、調理場のないユニットは簡易キッチンで味噌汁等を温めたりして、食を楽しむ雰囲気作りをして行く。	1ヶ月
3	26	ケアプランの内容に利用者の出来る事、したい事、得意な事があまり記載されていない	ケアプランを充実させる為に、利用者の個性や具体的なケア内容を、わかりやすい表現に変えていく。	具体的なケアプランを作成する為に、カンファレンスでしっかり話し合い、その人らしさを維持して行く。	1ヶ月
4	35	夜間帯の災害時に備えた、近隣住民との協力体制が築けていない	近隣住民、地域との協力体制を築き、夜間の災害時に備える。	避難訓練時に近隣住民にも参加を促し、グループホームの存在を知ってもらう。また近隣の店舗等にもオリジナルの新聞を配り、交流を持つ事で協力体制を築いていく。	6ヶ月
5	4	運営推進会議が、事業所からの一方的な情報提供になりつつある。	事業所からの一方的な会議ではなく、それぞれの立場からの意見交流が出来るように会議内容を工夫していく。	会議に気軽に参加出来る場を目指すために、取り上げて欲しい議題を家族や外部の方から募集してみる。改まった会議だけではなく、レクを通じての家族や地域住民との交流も取り入れてみる。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。